

橿原高等学校図書館選定図書100冊

000(総記)

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
1	富士通オフィス機器株式会社著 制作 『よくわかる高校生のための情報セキュリティ』 FOM出版 2005	インターネットは便利だけれど、ウイルスや不正アクセスなどのトラブルと隣り合わせ。そのセキュリティ対策についてわかりやすく解説している。
2	田中 共子 著 『図書館へ行こう』 岩波書店(岩波ジュニア新書) 2003	調べ学習で図書館を使いこなすには? 図書館についての素朴な疑問から活用のテクニックまで。本が好きでも嫌いでも、読書の初心者でも達人でも、楽しい入門書。
5	岸本 重陳 『新聞の読みかた』 岩波書店(岩波ジュニア新書) 1992	新聞には、テレビのニュースにはない面白さがある。なぜ新聞を読んだ方がよいのか、新聞のしくみからその活用まで、新聞の読み方ガイドブック。
3	斎藤 孝 著 『読書力』 岩波書店(岩波新書) 2002	「読書によって...の力がつく」という形で考え、コミュニケーション力、人間を理解する力との関わりを見る。自分をつくり、鍛え、広げることと読書の結びつきとは?
4	梅田 望夫 『ウェブ進化論-本当の大変化はこれから始まる』 筑摩書房(ちくま新書) 2005	ネット人口が急増し、知の再編と経済の劇的な転換が始まった。ブログ、ロングテールなどの新現象を読み解きながら、創造的・積極的に対処する知恵を身につけよう。

100(哲学・心理学)

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
6	池田 晶子 著 『14歳からの哲学-考えるための教科書』 トランスビュー 2003	人が一度は考えるであろう「言葉」「自分」「死」「家族」「社会」「理想と現実」「恋愛と性」「メディアと書物」「人生」等のテーマ。その考え初めの、きっかけとなる本。
7	秋山 裕美 著 『人と自分にやさしくなれる50の方法』 大和書房 2001	ひとりで考えていても、なかなか気分は変わらない。そんな時は、あわてないで、少しだけ行動してみよう。どんなときも前向きでいられるように。心休まる一冊。
8	香山 リカ 著 『10代に考えておくこと』 岩波書店(岩波ジュニア新書) 2005	友だちや親とのつき合い方、将来の進路、自分のこと。中高生の誰もが直面する悩みや疑問に、テレビでもおなじみの著者がアドバイスする実践的生き方ガイド。
9	斎藤 茂太 著 『いい言葉はいい人生をつくる -人生を楽しむ「成功」の処方箋』 ぶんか社 2002	アインシュタインからケネディ、夏目漱石まで著者が手帳に書きとめたとおきの「名言」を元に人生を思う存分楽しむ秘訣を伝授します。
10	D・カーネギー 著 『人を動かす』 創元社	「人を動かす三原則」「人に好かれる六原則」「人を説得する十二原則」など、社会人として身につけるべき人間関係の原則を具体的に明示し、あらゆる自己啓発本の原点となったD・カーネギーの名著

200(歴史・地理)

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
11	奈良県高等学校教科等研究会 編 『飛鳥の歴史散歩24コース』 山川出版社 2000	日本古代史の舞台「飛鳥」。橿高の近くにあるこのロマンあふれるこの地をさまざまな視点から見よう。現地ですでにたどれる散歩コースや施設や文化財情報も掲載
12	網野 善彦 著 『日本の歴史をよみなおす』 筑摩書房(ちくまプリマーブックス) 1991	後醍醐天皇の出現が、日本の歴史全体を変えた驚くべき事実。ひらがな文字や銭の普及の背景と意味とは? 新しい日本史像にいとむ刺激的な試み。続編、文庫もあります。
13	塩野 七生 著 『ローマ人の物語』 新潮社(新潮文庫)	ローマ人は何故かくも壮大な世界帝国を築き、しかし滅びたのか。塩野七生の、情緒を排した独自の視点から展開される刺激あふれる物語。
14	ジュリアス・レスター 文(片岡しのぶ訳) ロッド・ブラウン 絵 『あなたがもし奴隷だったら』 あすなる書房 1999	400年に渡って存在した奴隷制度の実態、現代人が享受している自由の尊さ、それにともなう責任を、写真をこえるリアリズムをもって描いた絵本。
15	ホームー ヒッカム・ジュニア 著 『ロケット・ボーイズ』 草思社 1999	1957年ソ連の人工衛星スプートニクを見て、ロケット作りに魅せられた高校生4人組。いつしか彼らはロケットボーイズと呼ばれた。のちにNASAのエンジニアになった著者の自伝。
16	加藤 九祚 著 『シルクロードの大旅行家たち』 岩波書店(岩波ジュニア新書) 1999	マルコ・ポーロ、イブン・バトゥータ、三蔵法師玄奘など、後世の東西文明の交流に偉大な足跡を残した7人の大旅行家の生涯と旅の見聞を紹介。

300 (社会科学)

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
17	新井 明、柳川 範之、新井 紀子、 e - 教室 編著 『経済の考え方がわかる本』 岩波書店 (岩波ジュニア新書) 2005	1個のケーキを2人で分ける方法? ゴミにはどんな値段がつくのか? 「こづかいの使い方こそ経済の原点」との立場で身近な事柄を題材に開かれた経済教室での意見を紹介し、経済とはどんなものかを考え、身につける本。
18	一番ヶ瀬 康子 著編 『福祉のこころ』 旬報社 2002	福祉ってなあに? 社会をよくすること? 弱者を助けること? 案外よくわからないと思いませんか。戦争、動物とのふれあい、さまざまな人との出会いから学んだ福祉の心を伝える。
19	養老 孟司 著 『超バカの壁』 新潮社 (新潮新書) 2006	若者の問題、自分の問題、テロの問題、男女の問題、子どもの問題、お金の問題など現代人の抱える様々な「壁」を超えるには? 『バカの壁』『死の壁』に続く第3弾。
20	朝日新聞社論説委員会 編 『天声人語』 朝日新聞社	朝日新聞一面連載の名物コラムを半年ごとに収録した本。政治、外交、事件、文化、スポーツ、その他国内外の事象を、分かりやすく解説・評論している。
21	渡部 淳 著 『国際感覚ってなんだろう』 岩波書店 (岩波ジュニア新書) 1995	英会話ができるだけでは国際人とはいえない! 一人の人間として異文化とむきあい、平和・人権・環境など人類共通の問題解決に参加できる。そんな「地球市民」になるためには?
22	緒方 貞子 著 『私の仕事』 草思社 2002	国連難民高等弁務官 (UNHCR) としてジュネーブに赴任してからの10年間の難民援助の活動を記録したエッセイ、日記、インタビュー、スピーチをまとめたものである。

400 (自然科学)

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
23	エンツェンスバルガー 著 (丘沢静也 訳) 『数の悪魔 算数・数学が楽しくなる12夜』 晶文社 2000	数学なんてこわくない! 素数の謎。0や1の秘密。悪魔が案内する愉快的なレッスン。数学と仲良くなる初級編。
24	戸田 盛和 著 『アインシュタイン16歳の夢』 岩波書店 (岩波ジュニア新書) 2005	「光速度で光を追いかけたら?」。16歳のアインシュタインが抱いた疑問は、相対性理論へと発展した。この「奇跡の年」から100年、アインシュタインの歩みと画期的な考え方を紹介。
25	アイリック・ニュート 『世界のたね 真理を追いもとめる科学の物語』 日本放送出版協会 1999	ゼロの発見、引力そしてDNA。これらは過去の研究者たちの探究の結果である。「なぜ数学や理科を勉強するの?」こんな疑問にも答え、楽しく読んでためになる初心者のための科学読本。
26	本川 達雄 著 『ゾウの時間とネズミの時間-サイズの生物学』 中公新書 1992	動物はサイズが違くと機敏さや寿命などが違ってくるが、一生の間に心臓が打つ総数や体重あたりの総エネルギー使用量は、同じである。そんなサイズに注目した新しい生物学入門書。
27	香川 靖雄 著 『生活習慣病を防ぐ-健康寿命をめざして』 岩波書店 (岩波新書) 2000	超高齢化社会を迎え、脳梗塞、心筋梗塞、糖尿病、骨粗鬆症、がんなど生活習慣から起こる病気にどう注意すればよいのか。これらの病気の原因や最先端の治療法までを解説した一冊。
28	鎌田 実 著 『がんばらない』 集英社 (集英社文庫) 2003	本当に豊かな生、また死とはなんだろう。名物医が、日々患者やその家族に接する中で綴ったエッセイ。テレビドラマ化され、の話題をさらった感動の書。

500 (技術)

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
29	レイチェル・カーソン 著 『センス オブ ワンダー』 新潮社 1996	すべての子どもが生まれながらに持っている「センス・オブ・ワンダー」つまり「感性」を、いつまでも失わないでほしい。『沈黙の春』の著者が、自然と暮らしながら書いた作品。
30	野口 哲典 著 『環境問題はわかるとおもしろい』 オーエス出版社 2000	21世紀は、私たちみんなが環境問題に関心を持ち、真剣に取り組まなければならない時代となった。ジャーナリストの父親が高校生の息子に環境問題を語る形をとって環境問題の入門書。
31	プラネット・リンク 『もったいない』 マガジンハウス 2005	2004年ノーベル平和賞受賞者でケニア共和国環境副大臣ワンガリ・マータイさんの言葉「もったいない」。日常生活の中の様々な「もったいない」を絵と文でわかりやすく説明した一冊。
33	西岡 常一 『法隆寺を支えた木』 日本放送出版協会 1978	最後の宮大工といわれた著者。木を扱ってきたプロと木の専門家が書く木の知識。世界遺産でもある法隆寺を題材に、古代の宮大工の経験知の鋭さを指摘している。
34	金丸 弘美 著 『本物を伝える日本のスローフード』 岩波書店 (岩波アクティブ新書) 2003	食べることを大切にし、地域の食文化を守る「スローフード」運動は日本でも定着してきた。そんな日本のスローフードの現場や地域の食文化にこだわる人々を訪ね、健康な食生活にもとづく豊かな暮らしを提案する。

600 (産業)

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
35	武藤 佳恭 著 『調べてみよう 携帯電話の未来』 岩波書店(岩波ジュニア新書) 2003	今や生活必需品となってきた携帯電話。そのしくみや未来とは? 基本知識から人工網膜カメラ、無線 LAN、五感情報を伝える道具への進化などあふれる機能について調べよう。
36	どこからどこへ研究会 編 『地球買いモノ白書』 コモンズ 2003	チキン・マグロ・カップ麺などの身近なモノはどこで作られ、環境にどんな影響を与えているのか。安くて美味しいだけではない。どうすれば賢い消費者になれるのかいっしょに考えよう。
37	渡辺 眞子 著 『捨て犬を救う街』 角川書店(角川文庫) 2002	捨て犬や捨て猫の命を救おうとする街、サンフランシスコ。かたや年間 65 万頭の犬猫をガス室で殺処分する日本。不幸な犬猫を一匹でも減らすために私たちは何をすべきか。
38	西沢 江美子 『米をつくる 米でつくる』 岩波書店(岩波ジュニア新書) 2005	ほかほかのご飯はおいしいが、その米がどのように作られるか本当に知っているか? 酒や味噌は米をどう加工しているのか。日本人の食生活に欠かせない食料、米について考えよう。
39	北野 大 監修 『北野大とやさしく学ぶ面白イノベーション』 遺伝子組み換え食品-ほんとに食べても大丈夫?』 旭屋出版 2004	遺伝子組み換え食品への疑問に答えながら、遺伝子組み換え食品とは何か、どんな可能性を持っているのかを考える。写真や絵が多くすぐに読める、バイオテクノロジーのことがよくわかる一冊。

700 (芸術・スポーツ)

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
40	佐藤 晃子 著 『常識として知っておきたい世界の絵画 50』 名画とその画家の教養が楽しく身につく本』 河出書房新社(KAWADE 夢新書) 2005	1 枚の絵に詰まっているドラマ。いかなる技法で描かれ、画家がどんな思いを込めたか? とっておきのエピソードとともに、絵画の知識が楽しみながら身につく美術入門書。『日本の絵画 50』もある
41	石田 衣良 著 『I LOVE モーツァルト』 幻冬舎 2006	心のキャンパスを広げる音 快活で明解なテンポ感、聴き手の心をグリップする力 ポップスを聴くように、カジュアルに楽しむ
42	釣谷 真弓 著 『おもしろ日本音楽史』 東京堂出版 2000	箏と琴の違い、わらべうたと民謡の共通性など、世界に誇る日本の音楽、伝統芸能の世界を紹介。1200 年も伝えられている雅楽から不世出の天才・宮城道雄、現代邦楽まで。
43	高岡 英夫 『「ゆる」身体・脳革命』 不可能を可能に変える 27 の実証』 講談社(講談社+ 新書) 2005	今、心と体にとって不可欠なのは「ゆるむ」こと。簡単らしく「ゆる体操」で、体や脳のサビ・ゆがみがとれ、減量から能力アップ、若返りまで思いのまま! 画期的自己再生法。
44	長倉 洋海 『きみが微笑む時』 福音館書店 2004	南アフリカ、コソボ、ボリビア、フィリピン...。紛争地を中心に世界を駆け巡り出会った、たくさんの笑顔。世界の明日をひらく微笑みに、力作エッセイをそえた、フルカラーの写真集。

800 (言語)

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
45	川内 彩友美 編(ラルフ・F. マッカシー 訳) 『まんが日本昔ばなし』 講談社(講談社英語文庫)	人気 TV シリーズ「まんが日本昔ばなし」のかわいい絵とお話を英語版で読んでみよう。
46	太宰 治 著(ラルフ・F. マッカシー 訳) 『走れメロス』 講談社(講談社英語文庫) 1988	人間の信頼と友情の美しさを、簡潔な力強い文体で表現したこの作品を英語で読んでみませんか?
47	晴山 陽一 著 『英語の再勉強法』 信じられないほど、速く確実に身につく』 河出書房新社(河出夢新書) 2003	英会話は、中 3 レベルの力があればまともに話せる。英語指導のプロが教える「英語をもう一度、楽に、速く身につける」方法を伝授。本当に英語を身につけたい人に役に立つおすすめ本。
48	大野 晋 著 『日本語練習帳』 岩波書店(岩波新書) 1999	日本語を話せますかと尋ねられて、「どうも苦手で」と頭をかたく人はいない。でも、あなたは日本語を正確に使いこなしているのか? 日本人の日本語を問題にした先駆けの一冊。
49	中山 元 著 『高校生のための評論文キーワード 100』 筑摩書房(ちくま新書) 2005	評論文が読めるようになるために、読解上欠かせない 100 語を厳選。定義およびその語が持っている思想的背景などを複数提示した文章を読む「視点」が養える一冊。
50	遠山 裕美子 著 藤原 和博 編 『英語 自分を語る英語術 - [よのなか]教科書』 新潮社 2003	必要とされる自己紹介から、自分の考えを英語で述べ、書けるように構成。「面接」に強くなるための英語に徹して解説する。よのなかで実際に役に立つ英語の教科書。

900(文学)

日本の文学

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
51	谷川 俊太郎 作 柳生玄一郎 絵 『みみをすます』 福音館書店	「みみをすます／きのうの／あまだれに／みみをすます」すべての人の心にそっと入りこむ和語のしなやかなリズム。日本ではじめての暗誦に耐えうる長編平仮名詩集。声に出して、その音韻を楽しむこと、文字で見る良さを知ることでもできる一冊。
52	高村 光太郎 著 『智恵子抄』 新潮社(新潮文庫)ほか	情熱のほとばしる恋愛時代から、短い結婚生活、夫人の発病、そして永遠の別れ……智恵子夫人との間にかわされた深い愛を謳う詩集。
53	石川 啄木 著 『一握の砂』 新潮社(新潮文庫)	都会生活の哀歎、故郷への思い、流浪をかさねた北海道時代を歌いつづけた歌集。
54	恩田陸 『光の帝国 常野物語』 集英社文庫	膨大な書物の暗記、遠くの出来事を知る、近い将来を見通すことから「常野」から来た彼らには、不思議な能力があった。ドラマにもなった優しさに満ちた壮大なファンタジーの序章。
55	宮部みゆき 『ブレイブストーリー』 角川書店	2006年夏のアニメ映画の原作。僕は運命を変えてみせる。両親の離婚を受け入れられない11歳の少年は、その現実を覆すために異世界へと旅立つ波乱万丈の物語。人気の高い宮部みゆきワールドへの第一歩を踏みだそう。
56	浅倉 卓弥 著 『四日間の奇跡』 宝島社(宝島文庫)	脳に障害を負った少女とピアニストの道を閉ざされた青年が山奥の診療所で遭遇する奇蹟。ひとつの不思議なできごとが人々のもうひとつの顔を浮かび上がらす。
57	梨木 香歩 著 『からくりからくさ』 新潮社	祖母が遺した古い家で始まった女4人の共同生活。静かな、けれど確かな実感に満ちて重ねられてゆく日々。心を持つ不思議な人形「りかさん」を真中にして。生命の連なり、絆を伝える物語。『りかさん』に続く物語。
58	重松 清、渡辺 考 著 『最後の言葉 戦場に遺された二十四万字の届かなかった手紙』 講談社	妻に、子どもに、恋人に宛てた愛の手記。60年の時を越えて、日本軍将兵の膨大な言葉が発見された。NHKハイビジョンスペシャル『最後の言葉～作家・重松清が見つめた戦争～』で話題を呼んだ感動ドキュメンタリー。
59	新堂 冬樹 著 『僕の行く道』 双葉社	主人公の大志は小学3年生。大志の願いはただ一つ、離れて暮らす母に会うこと。愛は奇跡を起こす…。そこにあるのは愛と信頼だけ。社会派的な作品の多い著者がふと出版する、感涙のハートフルストーリーのひとつ。
60	リリー・フランキー 著 『東京タワー - オカンとボクと、時々、オトン』 扶桑社	読みやすさ、ユーモア、強烈な感動!とベストセラーになった。作品。母と子、父と子、友情。この普遍的な、そして今語りづらいことがまっすぐリアルに胸に届く、新たな名作
61	湯本 香樹実 著 『夏の庭 The Friends』 新潮社(新潮文庫)	ひとり暮らしの老人と子どもたちとの奇妙な交流を通して、命の大切さや人と人の心のつながりを描いた作品。世界各国で翻訳出版され、映画や舞台にもなった児童文学の名作。
62	川上 健一 著 『雨鱒の川』 集英社(集英社文庫)	東北のとある寒村。小学3年生の心平は、川で魚を捕ることと絵を描くことにしか興味がない。母親の死後10年、18歳になった心平は村に帰ってきた。幼なじみの透明な心を謳い上げた清冽な初恋小説。映画化された作品。
63	西田 英史 著 西田 裕三 編 『ではまた明日』 草思社	ガン告知から11か月。彼はなおも受験勉強を続け、毎日の日記に「ではまた明日」と書き記した。最期まで明るく誠実に病氣と闘った少年が残した言葉は、真の勇気と生を教えてくれる。
64	三浦 綾子 著 『塩狩峠』 新潮社(新潮文庫)	鉄道職員永野信夫の乗った列車が、塩狩峠の頂上にさしかかった時突然暴走。恐怖に怯える乗客。信夫は飛びつくようにハンドブレーキに手を…。人間存在の意味を問う長編小説。
65	住井 すえ 著 『橋のない川』 新潮社	級友が私を避け、仲間はずれにする。差別 その深い罪について人はどれだけ考えただろうか。大和盆地の小村、小森で日露戦争で父を失った誠太郎と孝二を待ち受けていた生活とは。
66	遠藤 周作 『沈黙』 新潮社(新潮文庫)	島原の乱が鎮圧されて間もなくキリシタン禁制の日本に潜入したポルトガル司祭ロドリゴ。日本人信徒達に加えられる残忍な拷問と悲惨な殉教に苦悩し……キリスト信仰の根源的な問題を衝き、問いを投げかける長編
67	武者小路 実篤 著 『友情』 新潮社(新潮文庫)ほか	主人公野島とその親友大宮における友情と恋愛の相剋 青春のあらゆる問題がこのテーマを中心に展開される、武者小路実篤の数多い作品の中でも、とりわけ多くの若い読者に愛読されてきた永遠の青春小説。

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
68	川端 康成 著 『伊豆の踊子』 新潮社(新潮文庫)ほか	天城峠を越えて下田に向かう旅芸人の一行と道連れになった。ほのかな旅情と青春の哀歎を描く、何度も映画化され、受け継がれている青春文学の傑作
69	小林 多喜二 著 『蟹工船・党生活者』 新潮社(新潮文庫)	日本のプロレタリア文学運動を代表する作家・小林多喜二。すべての人権を剥奪された未組織労働者のストライキを描いた「蟹工船」など名作2作
70	夏目 漱石 著 『三四郎』 岩波書店(岩波文庫)ほか	『それから』『門』と続く3部作の第1篇。大学生活の中で成長してゆく青年と聡明にして自由なる女性美禰子。触れようとして触れ得ぬ思慕のたゆたいを描く。
71	芥川 龍之介 著 『戯作三昧・一塊の土』 新潮社(新潮文庫)	江戸末期に、市井にあつて芸術至上主義を貫いた滝沢馬琴に、自己の思想や問題を託した「戯作三昧」、他に「枯野抄」等全13編を収録。
72	幸田露伴 『五重塔』 新潮社(新潮文庫)ほか	技量はあるのに小才の利かぬ性格のために「のっそり」というあだ名で呼ばれる大工十兵衛。そんな彼が義理も人情も捨て、谷中感應寺の五重塔建立に一身を捧げた。
73	三島 由紀夫 著 『金閣寺』 新潮社(新潮文庫)	1950年「国宝・金閣寺焼失」というニュースが世間を驚かせた。この事件の陰に潜められた若い学僧の悩み。三島が全青春の決算として告白体の名文に綴った不朽の金字塔。
74	森 鷗外 著 『阿部一族・舞姫』 新潮社(新潮文庫)	封建制のもとでの武士道の意地が、人間性をぎりぎりにまで圧迫して、ついにはその破滅に至らせる経緯を、簡潔な迫力ある筆で描いた歴史小説の傑作。
75	中島 敦 著 『李陵・山月記』 新潮社(新潮文庫)	漢の武帝の時代。侵略をくりえかす匈奴を討つために北辺の地へ向かった李陵は捕虜になってしまう。そして。時代の波に翻弄される男たちの姿を描き、“人間の真の美しさ”を問うた作品。
76	山崎 豊子 著 『大地の子』 新潮社	陸一心 日本人残留孤児で、中国人の教師に養われて成長した青年のたどる苦難の旅路を文化大革命下の中国を舞台に描く大河小説。
77	宮城谷 昌光 著 『三国志』 文藝春秋	徳を失い腐敗した後漢王朝の悲劇から、壮大な歴史叙事詩が始まる。中国の歴史小説で人気の高い著者が描く三国志。吉川英治版(講談社文庫)と読み比べるのも面白いかも。
78	司馬 遼太郎 著 『項羽と劉邦』 新潮社(新潮文庫)	紀元前3世紀末、秦の始皇帝は中国史上初の統一帝国を創出し戦国時代に終止符をうった。しかし彼の死後、秦の統制力は弱まり、陳勝・呉広の一揆がおこると、天下は再び大乱の時代に入る。
79	角川書店 編 『平家物語』 角川書店(角川文庫)ほか	重盛を迎える 栄華の中の諸行無常；維盛を迎える 運命の大河のほとり；重衡を迎える 乱世の救い；建礼門院を迎える 流転の王妃の見たものは？
80	井上 靖 著 『風林火山』 新潮社(新潮文庫)	知略縦横の軍師として信玄に仕える山本勘助が秘かに慕う信玄の側室由布姫。風林火山の旗のもと、川中島の合戦は目前に迫る。2007年のNHK大河ドラマの原作。

外国文学

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
81	ミヒャエル・エンデ 著 (大島 かおり 訳) 『モモ』 岩波書店(岩波少年文庫)	町はずれの円形劇場あとにまよいこんだ不思議な少女モモ。町の人たちはモモに話をきいてもらおうと、幸福な気持ちになる。そこへ「時間どろぼう」の男たちの魔の手が忍び寄り...
82	A-シユラ・K-ル・グイ 著 (清水 真砂子 訳) 『ゲド戦記』 岩波書店	無数の島々と海からなるアースシー(EARTHSEA)。並はずれた魔法の力を持つ男ゲドの波瀾万丈の生涯を軸に、アースシー世界の光と闇を描く壮大な物語。
83	アレックス・シアラー 著(金原 瑞人 訳) 『13ヵ月と13週と13日と満月の夜』 求龍堂	奇想天外なのに、意外とリアル。読み始めたら夢中になって止まらない!おしゃべりで勇敢な12歳の少女、赤毛でそばかすだらけのカーリーが活躍する、ちょっぴり怖いけど、きっと、ハッピーエンドの物語...
84	アレックス・ル・エ、フェルナント・トリアス・デ・パス 著 (田内 志文 訳) 『Good Luck』 ポプラ社	それは54年ぶりの運命の再会。公園のベンチで幼なじみのジムと隣り合わせたマックスは、仕事も、財産も、すべてを失い変わり果てた友人に、祖父から聞かされた「魅惑の森」の物語をかたった。奇蹟のラストへ、七日間の旅が始まる。

	著者名・書名・出版社名	内容・解説
85	オグ・マンディーノ 著 (坂本 貢一 訳) 『十二番目の天使』 求龍堂	野球への愛、思い入れ、友情、勝利の喜び、敗戦のくやしき... 人生、愛、そして勇気をテーマにした、涙なくしては読めない、 感動の物語
86	リザ・テツナー 著 (酒寄 進一 訳) 『黒い兄弟』 福武書店	今から 150 年以上も昔のスイス。山奥の貧しい農民たちは、8 歳から 15 歳になる自分の子供たちをミラノの煙突掃除夫に売 っていた。秘密結社「黒い兄弟」の仲間たちの波瀾万丈の物語。
87	ロバート・ニュートン・ベック 著 (金原 瑞人 訳) 『豚の死なない日』 白水社	ヴァーモントの貧しい農家の少年を主人公に、誇り高い父の教 え、土に根ざして生きる素朴な人々との交流、動物たちへの愛 情を生き生きと描く傑作。続編もあります。
88	パウロ・コエーリヨ 著 (山川 紘矢 他訳) 『アルケミスト』 角川書店(角川文庫)	羊飼いの少年サンチャゴは、アンダルシアの平原からエ ジプトのピラミッドに向けて旅に出た。ある夢を信じて。 旅の様々な出会いと別れのなかで、人生の知恵を学んで 行く。世界中でベストセラーとなった夢と勇気の物語
89	ヨースタイン・ゴイデル 著 (山内 清子 訳) 『カードミステリー 失われた魔法の島』 徳間書店	夏、北欧からギリシャへ、息子と父は旅に出た。息子だ けが手にした「魔法の本」、父だけが語ることのできる 哲学と智恵、そして...。「ソフィーの世界」に先だって、 「ほんとうに面白い小説」としてヨーロッパ各国で話題 を呼んだ小説。
90	コナン・ドイル 著 (滝口 直太郎 訳) 『失われた世界』 東京創元社(創元 S F 文庫)	その昔、地球上に横行した古代の生物は絶滅したのか？ アマゾン流域で死んだアメリカ人の遺品の中から、前世 紀の生物を描いたスケッチ・ブックが発見される。物学 者チャレンジャー教授は 失われた世界 を求めて旅立 つ。コナン・ドイルが描く名作 ロスト・ワールド
91	ディケンズ 著 『オリバー・ツイスト』 岩波書店(岩波文庫)	『オリバー・ツイスト』の作家、ディケンズの自伝的要 素の濃い作品。資本主義が世界のどの国よりも早く確立 した時代のイギリス社会と人々を描いた作品。
92	ヘルマン・ヘッセ 著 『車輪の下』 新潮社(新潮文庫)ほか	父親や教師の期待を一身に担ったハンスは、難関の神学 校に。しかしその厳しい生活に耐えきれず、学業への情 熱も失せ、脱走を企てる。「教育」という名の重圧に押 しつぶされてゆく多感な少年の哀しい運命をたどる名作。
93	シャーロット・ブロンテ 著 『ジェーン・エア』 新潮社(新潮文庫)ほか	幼くして両親を亡くしたジェーンは、叔母の家に引き取 られたが、待っていたのは冷たい仕打ちの数々。逃げる ように寄宿学校に入るが...。成長したジェーンは家庭教 師として赴いた新天地で、運命の出会いをした。世界中 で読み継がれるシャーロット・ブロンテの代表作。
94	ヘミングウェイ 著 『老人と海』 新潮社(新潮文庫)ほか	海の男サンチャゴの死闘と友情。やせこけた老人サンチャゴ。 小舟で沖に出て1週間、ついに遭遇した巨大な、かじきまぐろ。 大魚と格闘する日が続く。いつしか彼の心には、大魚への熱い 友情が生まれていた.....。
95	ディクソン 編 (中野 好夫 訳) 『アラビアン・ナイト』 岩波書店(岩波少年文庫)	無人島におきざりにされた船乗りシンドバッドは、島に住む巨 大なロック鳥につかまって空に飛び立つ。おりた谷底には、 一面のダイヤモンドと無数のヘビが...
96	サンテグジュペリ 著 (池沢 夏樹 訳) 『星の王子さま』 集英社	「大切なものは目に見えない...心で見なくちゃ...」の言 葉で有名なこの作品。昨年だされた新訳版。
97	J・D・サリンジャー 著 (村上 春樹 訳) 『キャッチャー・イン・ザ・ライ』 白水社	少年の夢と激情は、大人たちの欺瞞を許すことができな い。村上春樹の新しい訳でお届けする新時代の『ライ 麦畑でつかまえて』。
98	シェイクスピア 著 『ハムレット』 新潮社(新潮文庫)ほか	「生きるべきか、死ぬべきか、それが問題だ。」ハムレットは 父の亡霊に導かれ、復讐をとげるため、気の触れたふりをして その時をうかがうが...。シェイクスピア四大悲劇のひとつ。
99	ペーター・ヘルトリング 著 『ヒルベルという子がいた』 偕成社	ヒルベルは町はずれにある施設に暮らす。生まれた時に 頭が傷つけられたため、いつも頭痛に悩まされ、頭が痛 くなると何が何だかわからなくなる。ある日、ホームに 新任のマイヤー先生がやってきて...。衝撃の問題作。
100	ドストエフスキー 著 『罪と罰』 新潮社(新潮文庫)ほか	暑い夏の日、大学もやめ、ぎりぎりの貧乏暮らしの青年 に郷里の家族の期待と犠牲が重くのしかかる。この悲惨 な境遇から脱出しようと、彼はある「計画」を執行する が...。世界文学に新しいページをひらいた傑作。